

「明商福祉科設置に助言を」

市と兵庫大連携協定

地域発展や人材育成へ



協定書を手にする兵庫大・兵庫大短期大学部の河野真学長(左)と泉房穂市長(右)と明石市役所

明石市と兵庫大・兵庫大短期大学部(加古川市)は18日、地域の発展と人材育成に向けて包括連携協定を結んだ。人材を交流したり、明石市が大学教員から助言

石商業高校に福祉のコースをつくる方向になっており、助言や力添えをもらい、福祉のまちを前に進められる」とあいさつした。

兵庫大の河野真学長は「市の子育て支援をお手伝いさせてもらうほか、医療や福祉、教育、まちづくり

の人材育成で、学生が明石市をフィールドに多くのことを学ばせてもらいたい」と述べた。

市が大学などと包括連携協定を結ぶのは、2005年の神戸学院大、07年の明石工業高等専門学校に続いて3例目。(長尾亮太)